



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和3年9月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第233号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にできる子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫教育&コミュニティ・スクール(CS) 研修会を実施したうな~

市教委主催で市内全19校を対象とした、「我孫子市小中一貫教育&コミュニティ・スクール(CS)」研修会を各学校での研修動画を視聴するというかたちで実施しました。

研修会には、教頭、教務主任、研修主任、学年主任など、様々な立場の方が参加し、それぞれ小中一貫教育、そして令和4年度から市内全校に導入する学校運営協議会制度について、その立場から見つめてもらう機会となりました。

今回は、研修会に参加した方からの感想を紹介します。

我孫子市小中一貫教育&CS研修会の感想(一部抜粋)

- ・我孫子市の教職員全員が「我孫子市小中一貫教育基本方針」について、しっかりと把握した上で児童の教育活動にあたる必要があると感じる。特に、「目指す子ども像」を見据えて日々の教育に向き合いたい。
- ・未来を生きる子どもたちの「生きる力」の育成のために、教員が小中一貫教育に対する理解を深め、「たて」と「よこ」の関係諸機関が連携していくことが大切だと思った。
- ・今後小中一貫教育推進の一つとして、小学校高学年でも教科担任制が推進されてほしい(実際の取組の中で、成果を実感している)。
- ・小学校5,6年から中学校1年にかけて、小中一貫教育の結びつきを強くするなら、小中学校の実態をお互いの教員がもっとよく知るために、小中の交流行事をもっと増やした方がよいと思った。年間を通して、定期的な関わり方をもっと探るべきだと思う。
- ・各中学校区のランドデザインについては、適切な見直しが見られるよう、まずは中学校区の先生方と情報交換の場を設定し、中学校区の実態及び課題を共有・把握することから始めて行きたい。
- ・現時点でも、各中学校区で共通認識のもとに取り組んでいることがある。それらがランドデザインに反映されなければならないと感じている。
- ・学校運営協議会制度の来年度のスタートに向けて、新しいものを始めなければならないと感じていたが、既存の教育活動(学校の願い)に、地域の願いを組み込んで協力・連携して取り組んでいくのだと理解することができた。
- ・学校運営協議会の力を借りた地域教材や人材活用により、郷土愛を育て、キャリア教育の充実と児童生徒の自己肯定感を高められるような教育活動が実践されることに期待したい。
- ・学校運営協議会制度に参加する地域住民や保護者、地域コーディネーターにも、今回の研修内容を理解していただく機会を設け、趣旨を理解し学校へ協力していただける体制をまずは作りたい。
- ・小中一貫教育や、CSの大きな課題は、学校運営に関する地域や職員の思いが、一部の委員や中心となって関わる職員にとどまりがちなことである。

